

令和4年度 坂井市ごみ組成調査結果報告書

(事業系)

表 1-2 事業系調査対象地区の収集日と調査日

地区名	業種	収集日	調査日
三国地区	工場	令和4年10月3日、6日	令和4年10月7日
	工場		
	飲食	令和4年10月3日、7日	
	飲食	令和4年10月3日	
	医薬	令和4年10月3日、6日	
	工場	令和4年10月3日	
丸岡地区	飲食	令和4年10月11日、14日	令和4年10月14日
	工場		
	建設		
	生活		
	ホテル		
	飲食		
春江地区	飲食	令和4年10月17日、21日	令和4年10月21日
	飲食		
	工場		
	車	令和4年10月19日、22日	
	工場	令和4年10月17日、21日	
	工場		
坂井地区	工場	令和4年9月27日、30日	令和4年9月30日
	工場		
	飲食		
	飲食	令和4年9月26日	
	工場	令和4年9月27日、30日	
	印刷	令和4年9月26日	

表 1-4 組成調査項目（事業系）

大分類	細分類	分類 No.	内容及び具体例	資源
1. 食品廃棄物	賞味期限切れ	(1)	賞味期限の表示を過ぎているもの	
	消費期限切れ	(2)	消費期限の表示を過ぎているもの	
	食べ残し	(3)	調理・加工され、賞味・消費期限切れに当てはまらないもの	
	その他	(4)	1～3に当てはまらないもの	
2. 紙類	雑がみ	(5)	空き箱、OA用紙等	○
	紙おむつ	(6)	紙おむつ	
	その他	(7)	5～6に当てはまらないもの	
3. 木・竹・わら類		(8)	割りばし、竹串、草木、葉等	
4. 繊維・布類		(9)	衣類、布製品、敷物、布切れ等	
5. プラスチック類	生ごみを入れていた袋	(10)	生ごみが入っていた袋・ネット	
	外袋	(11)	坂井市指定のごみ袋、排出時にごみがまとめられていた袋	
	レジ袋	(12)	生ごみが入っていたレジ袋	
	内袋	(13)	生ごみ以外のごみが入っていた袋	
	プラ資源	(14)	トレイ、ペットボトル、カップ、リサイクルマークの付いた菓子袋	○
	燃えないごみ	(15)	10～14に当てはまらないもの	
6. ゴム・皮革製品		(16)	かばん、靴、革製品、ゴム手袋等	
7. 陶磁器類		(17)	食器、植木鉢等	
8. 金属	缶類	(18)	スチール、アルミ製の缶類	○
	スプレー缶	(19)	殺虫剤、カセットボンベ、化粧品等	
	その他の金属	(20)	なべ、やかん、かさ、針金ハンガー、クリップ、アルミ箔等	
9. びん・ガラス類	びん類	(21)	飲料用等の資源化可能なびん類	○
	びん類以外	(22)	窓ガラス、コップ、その他のガラス製品、一升瓶以外のびん、化粧品など飲料用以外のびん	
10. 医療廃棄物		(23)	注射器や付属製品	
11. その他		(24)	保冷剤、乾燥剤、たばこ吸い殻、電球、電化製品等	

5. 事業系調査結果

各事業所より収集した調査サンプルの袋数及び重量を表 5-1 に、坂井市 4 地区及び坂井市の組成調査結果を表 5-2 に示す。

表 5-1 調査サンプル袋数及び重量（事業系）

地区名	業種	袋数 (個)	重量 (kg)	地区総重量 (kg)
三国地区	工場	11	43.04	345.50
	工場	12	23.06	
	飲食	16	74.36	
	飲食	12	39.50	
	医薬	20	141.60	
	工場	10	23.94	
丸岡地区	飲食	10	61.24	221.62
	工場	13	42.94	
	建設	16	35.24	
	生活	11	23.22	
	ホテル	10	23.72	
	飲食	10	35.26	
春江地区	飲食	8	46.28	303.66
	飲食	17	91.22	
	工場	16	55.74	
	車	10	20.38	
	工場	17	35.44	
	工場	17	54.60	
坂井地区	工場	24	92.82	231.30
	工場	19	35.22	
	飲食	11	19.70	
	飲食	9	39.38	
	工場	9	40.52	
	印刷	3	3.66	

表 5-2 坂井市 4 地区の組成調査結果（事業系）

大分類	細分類	三国地区		丸岡地区		春江地区		坂井地区		坂井市		資源
		重量(kg)	割合(%)									
1. 食品廃棄物	賞味期限切れ	0.53	0.8	0.33	0.5	—	—	0.04	0.1	0.90	0.3	
	消費期限切れ	8.24	12.5	—	—	0.19	0.3	—	—	8.43	3.3	
	食べ残し	0.88	1.3	0.79	1.2	3.36	5.3	0.45	0.7	5.48	2.1	
	その他	18.62	28.2	10.71	16.6	10.32	16.4	5.66	8.9	45.31	17.6	
2. 紙類	雑がみ	5.48	8.3	12.81	19.9	8.82	14.0	13.90	21.7	41.01	15.9	○
	紙おむつ	3.42	5.2	0.35	0.5	0.23	0.4	0.04	0.1	4.03	1.6	
	その他	6.78	10.3	22.80	35.3	17.24	27.3	24.62	38.5	71.44	27.7	
3. 木・竹・わら類		0.32	0.5	2.70	4.2	0.77	1.2	0.57	0.9	4.36	1.7	
4. 繊維・布類		8.22	12.4	2.62	4.1	4.20	6.7	3.96	6.2	19.00	7.4	
5. プラスチック類	生ごみを入れていた袋	0.95	1.4	0.19	0.3	0.27	0.4	0.28	0.4	1.68	0.7	
	外袋	0.76	1.1	0.62	1.0	1.63	2.6	1.11	1.7	4.11	1.6	
	レジ袋	—	—	0.29	0.4	0.08	0.1	0.17	0.3	0.54	0.2	
	内袋	0.83	1.3	0.59	0.9	0.84	1.3	0.45	0.7	2.72	1.1	
	プラ資源	5.19	7.9	4.80	7.4	5.32	8.4	8.78	13.7	24.09	9.4	○
	燃えないごみ	2.94	4.4	1.62	2.5	7.00	11.1	1.68	2.6	13.24	5.1	
6. ゴム・皮革製品		0.30	0.5	1.18	1.8	0.53	0.8	0.72	1.1	2.72	1.1	
7. 陶磁器類		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8. 金属	缶類	0.08	0.1	0.04	0.1	—	—	—	—	0.12	0.0	○
	スプレー缶	0.08	0.1	—	—	—	—	—	—	0.08	0.0	
	その他の金属	0.56	0.9	0.12	0.2	0.09	0.1	0.17	0.3	0.95	0.4	
9. びん・ガラス類	びん類	—	—	—	—	0.15	0.2	0.29	0.5	0.44	0.2	○
	びん類以外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10. 医療廃棄物		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11. その他		1.92	2.9	1.95	3.0	2.05	3.3	1.03	1.6	6.96	2.7	
合計		66.09	100.0	64.51	100.0	63.10	100.0	63.92	100.0	257.61	100.0	

※重量については小数点以下第 2 位、割合については小数点以下第 1 位まで表示し、表中の重量において「0.00」、割合において「0.0」と表示されているところは、表示されている桁数より小さい値がある場合を示している。
また、重量や割合の合算値については四捨五入の関係上、合計値と一致しないものがある。「—」は値がない場合を表している。

5.1. 坂井市全体

5.1.1. 組成調査結果

4地区の重量を合計して、坂井市の組成割合を算出した。表5-3に坂井市の事業系ごみの組成調査結果を、図5-1に坂井市の大分類における組成割合を示す。

坂井市では紙類の割合が最も高く45.2%を占めていた。次に割合が高かったのが食品廃棄物で23.3%であった。3番目に割合が高かったのはプラスチック類で18.0%であった。

表5-3 事業系ごみの組成調査結果（坂井市）

大分類	細分類	坂井市				資源
		大分類		細分類		
		重量(kg)	割合(%)	重量(kg)	割合(%)	
1. 食品廃棄物	賞味期限切れ	60.11	23.3	0.90	0.3	
	消費期限切れ			8.43	3.3	
	食べ残し			5.48	2.1	
	その他			45.31	17.6	
2. 紙類	雑がみ	116.49	45.2	41.01	15.9	○
	紙おむつ			4.03	1.6	
	その他			71.44	27.7	
3. 木・竹・わら類		4.36	1.7	4.36	1.7	
4. 繊維・布類		19.00	7.4	19.00	7.4	
5. プラスチック類	生ごみを入れていた袋	46.39	18.0	1.68	0.7	
	外袋			4.11	1.6	
	レジ袋			0.54	0.2	
	内袋			2.72	1.1	
	プラ資源			24.09	9.4	○
	燃えないごみ			13.24	5.1	
6. ゴム・皮革製品		2.72	1.1	2.72	1.1	
7. 陶磁器類		—	—	—	—	
8. 金属	缶類	1.15	0.4	0.12	0.0	○
	スプレー缶			0.08	0.0	
	その他の金属			0.95	0.4	
9. びん・ガラス類	びん類	0.44	0.2	0.44	0.2	○
	びん類以外			—	—	
10. 医療廃棄物		—	—	—	—	
11. その他		6.96	2.7	6.96	2.7	
合計		257.61	100.0	257.61	100.0	

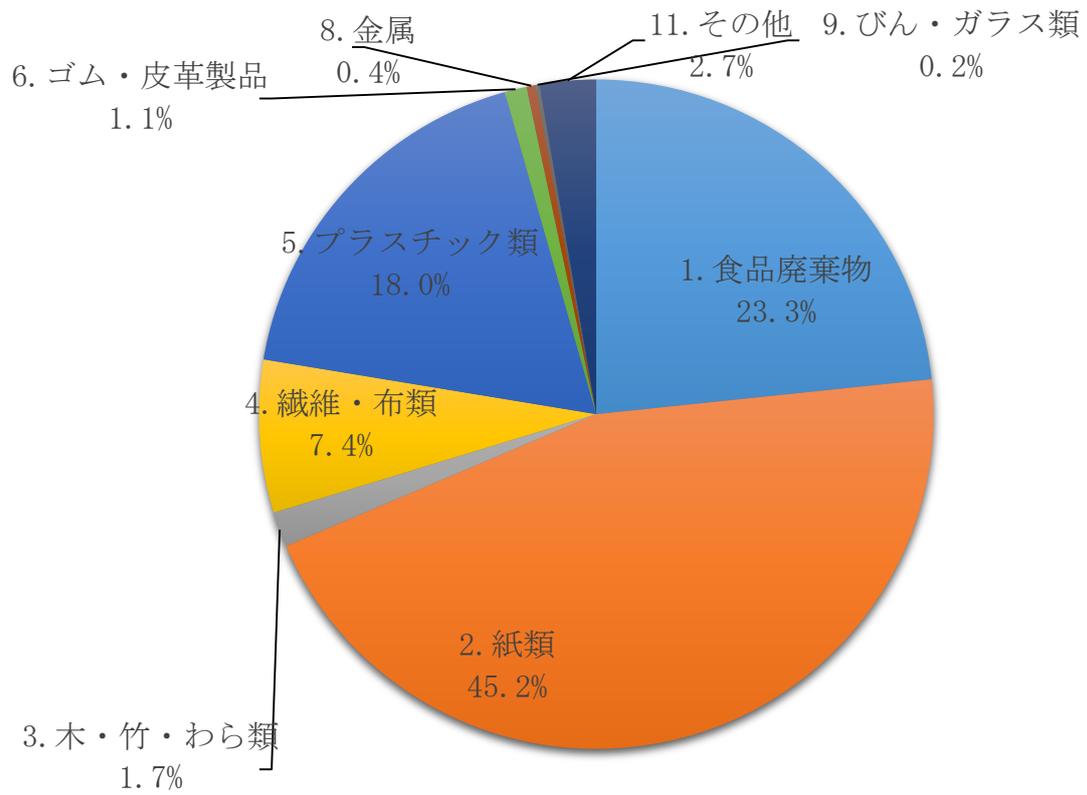


図 5-17 事業系ごみの大分類組成割合 (坂井市)

5.1.2. 食品廃棄物の組成

表 5-4 に坂井市における食品廃棄物の細分類組成調査結果を、図 5-2 に細分類組成割合を示した。図 5-3 に坂井市の事業系ごみから出た食品廃棄物の内容物写真を示す。

その他（賞味期限切れ、消費期限切れ、食べ残しに該当しないもので家庭系の分類における調理くず）の割合が 75.4%と 7 割を占めていた。賞味期限切れ、消費期限切れ、食べ残しはそれぞれ 1.5%、14.0%、9.1%であった。

表 5-4 食品廃棄物の細分類組成調査結果（坂井市）

大分類	細分類	坂井市		資源
		重量(kg)	割合(%)	
1. 食品廃棄物	賞味期限切れ	0.90	1.5	
	消費期限切れ	8.43	14.0	
	食べ残し	5.48	9.1	
	その他	45.31	75.4	
合計		60.11	100.0	

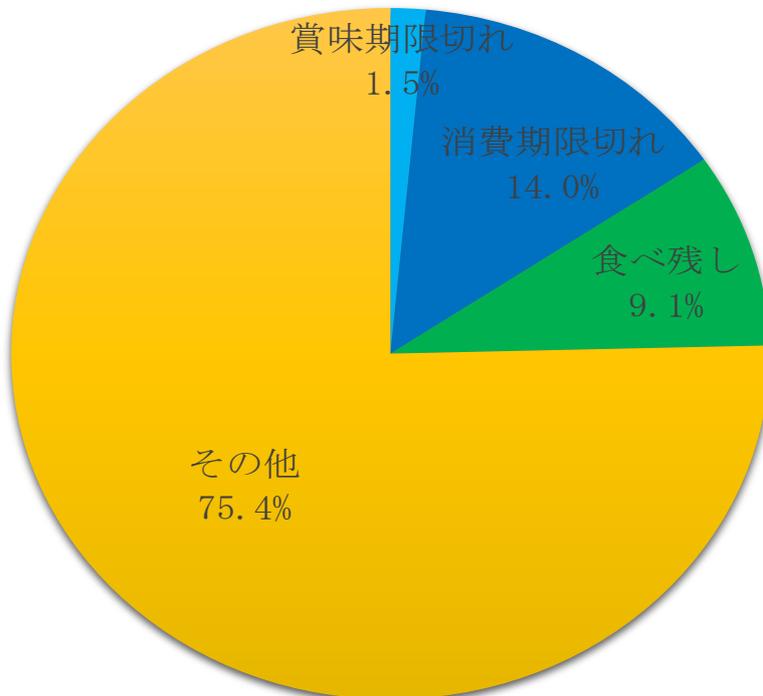


図 5-2 食品廃棄物の細分類組成割合（坂井市）



賞味期限切れ



消費期限切れ



食べ残し



その他

図 5-3 事業系ごみから出た食品廃棄物

5.1.3. 紙類の組成

表 5-5 に坂井市における紙類の組成調査結果を、図 5-4 に細分類組成割合を示す。

その他（雑がみ、紙おむつに該当しないもの）の割合が 61.3%と 6 割を占めていた。次に割合が高かったのは資源化可能物である雑がみ 35.2%であった。

表 5-5 紙類の細分類組成調査結果（坂井市）

大分類	細分類	坂井市		資源
		重量(kg)	割合(%)	
2. 紙類	雑がみ	41.01	35.2	○
	紙おむつ	4.03	3.5	
	その他	71.44	61.3	
合計		116.49	100.0	

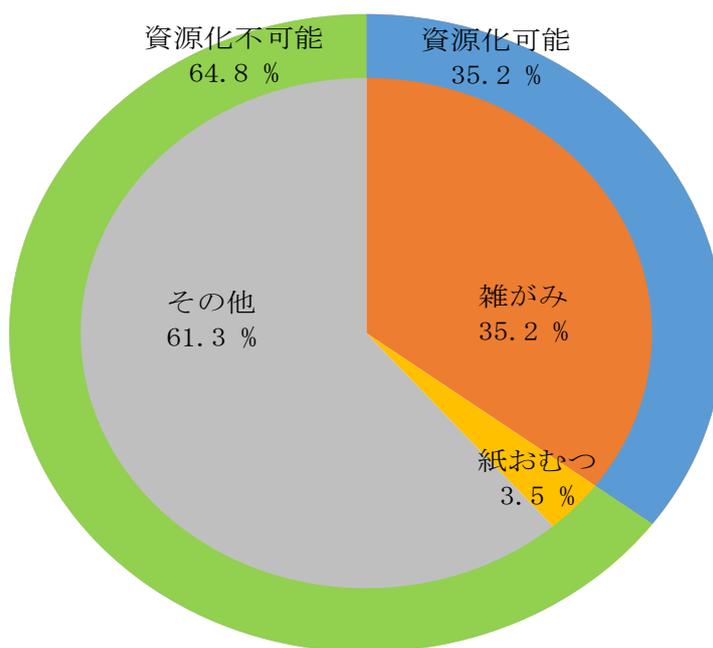


図 5-4 紙類の細分類組成割合（坂井市）

5.1.4. プラスチック類の組成

表 5-6 に坂井市におけるプラスチック類の組成調査結果を、図 5-5 に細分類組成割合を示した。

資源化可能物であるプラ資源の割合が 51.9%と大部分を占めていた。次に割合が高かったのは燃えないごみの 28.5%であった。

表 5-6 プラスチック類の細分類組成調査結果（坂井市）

大分類	細分類	坂井市		資源
		重量(kg)	割合(%)	
5. プラスチック類	生ごみを入れていた袋	1.68	3.6	
	外袋	4.11	8.9	
	レジ袋	0.54	1.2	
	内袋	2.72	5.9	
	プラ資源	24.09	51.9	○
	燃えないごみ	13.24	28.5	
合計		46.39	100.0	

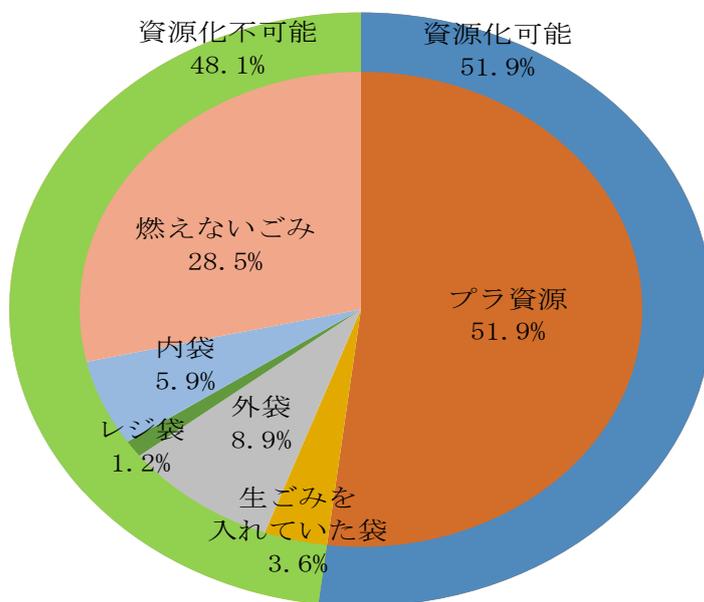


図 5-5 プラスチック類の細分類組成割合（坂井市）

5.1.5. 不燃物・その他の組成

表 5-7 に坂井市における不燃物・その他の組成調査結果を示す。

坂井市の不燃物の割合は、サンプル全体の 0.6%であった。そのうち資源化可能なものとして、金属一缶類が 0.0% (0.048%)、びん・ガラス類ーびん類は 0.2%含まれていた。

その他の割合としてサンプル全体の 2.7%であった。

表 5-7 不燃物・その他の細分類組成調査結果 (坂井市)

大分類	細分類	坂井市		資源
		重量(kg)	割合(%)	
7. 陶磁器類		—	—	
8. 金属	缶類	0.12	0.0	○
	スプレー缶	0.08	0.0	
	その他の金属	0.95	0.4	
9. びん・ガラス類	びん類	0.44	0.2	○
	びん類以外	—	—	
10. 医療廃棄物		—	—	
11. その他		6.96	2.7	
不燃物の合計		1.59	0.6	
資源化可能な不燃物の合計		0.57	0.2	
その他の合計		6.96	2.7	

5.2. 坂井市全体のまとめ（事業系）

大分類では紙類の割合が最も高く 45.2%で 4 割以上を占め、2 番目に食品廃棄物 23.3%、3 番目にプラスチック類 18.0%であった。細分類では、紙類－その他 27.7%、食品廃棄物－その他 17.6%、紙類－雑がみ 15.9%、プラスチック類－プラ資源 9.4%が高い割合を占めていた。

食品廃棄物は、その他が 75.4%と 7 割以上を占め、2 番目に消費期限切れ 14.0%、3 番目に食べ残し 9.1%であった。

資源化可能物の割合としては全体で 25.5%であった。紙類中の資源化可能物の割合は 35.2%で、プラスチック類中の資源化可能物の割合は 51.9%であった。

不燃物類の混入割合はサンプル全体の 0.6%、不燃物中の資源化可能物の割合は 0.2%であった。

5.3. データの比較のまとめ（事業系）

5.3.1. 各地区の比較

地区によって差はみられたが、全ての地区において食品廃棄物、紙類、プラスチック類の割合が高くなっていた。

食品廃棄物は、全ての地域でその他の割合が最も高かった。また、三国地区で消費期限切れ 29.2%、春江地区で食べ残し 24.2%と高い割合を占めていた。

各地区の資源化可能物の割合は、三国地区 16.3%、丸岡地区 27.4%、春江地区 22.7%、坂井地区 35.9%で、1 割から 3 割の範囲で、紙類中の資源化可能物の割合は各地区とも 3 割程度であった。プラスチック類中の資源化可能物の割合は三国地区 48.7%、丸岡地区 59.2%、春江地区 35.1%、坂井地区 70.4%であった。

不燃物の資源化可能物の割合は三国地区 0.1%、丸岡地区 0.1%、春江地区 0.2%、坂井地区 0.5%であった。

5.3.2. 他自治体との比較

本調査と同様な調査を行っている他自治体と比べると、調査方法や分類方法が異なるので単純には比較できないが、比較した 2 市と比べて同程度の割合となった。